令和6年度第6回看護研究倫理委員会議事要旨

日時 令和6年11月18日(月) 16:30～19:00
場所 WEB会議 (Microsoft Teams) ゼブラ棟2階多目的室④
出席者 ■伊藤委員長 ■橋本委員 ■古賀委員 ■竹下委員 ■大矢委員
□藤谷委員 □飯塚委員 ■三宅委員 □原委員 ■小中委員
■山根委員
(■が出席、□が欠席を表す。)

- 本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条の規定に基づく5名以上の出席を得て成立した。

議題

1. 実施状況報告書

課題名：残尿測定のための超音波検査法のプローブ角度の研究

委員から、下記のとおり指摘があった。

- ・研究予定期間を「西暦2022年7月15日～西暦2024年7月31日」に修正すること。
- ・研究実施状況の個人情報管理(匿名化)、試料・情報の管理を問題ありに変更し、その内容・理由・改善策を追記すること。
- ・その他の実施上の問題点について、内容・理由を追記すること。
- ・研究責任者の変更手続き、研究分担者の所属の変更、研究期間の変更、観察項目の追加についての手続きが行われていなかったことを明記するようこと。

審議の結果、修正確認後に承認することとした。

2. 再発防止策

課題名：残尿測定のための超音波検査法のプローブ角度の研究

委員から、下記のとおり指摘があった。

- ・逸脱行為の内容について、研究責任者の変更、研究分担者の変更、研究機関の変更、情報の保管場所の変更、観察項目の追加を明記すること。
- ・上記の5つの問題についてそれぞれ経緯と原因を記入すること。
- ・研究責任者の変更については、令和3年3月から8月まで研究責任者が不在だったことを明記すること。
- ・逸脱行為の再発防止策については、1) について、博士課程の研究に関する

る委員会に組織的な解決ができるように要請すること。2)については、年に一回記載する指導計画書に研究期間を記載し確認することで、必要な変更手続きを失念しないようにすること。

審議の結果、修正確認後に承認することとした。

報告事項

○審査結果について

1) 申請者：医学系研究科看護学専攻 木村 千尋

課題名：医療ニーズの高い高齢者の退院後の安全性を目的とした、情報共有実践尺度の開発

審査結果：承認（令和6年11月8日付）

2) 申請者：臨床看護学講座 松村 初恵

課題名：「Team STEPPS」研修が看護学生のリスク感性と多職種連携能力へ与える影響

審査結果：承認（令和6年11月8日付）

○実施状況報告書について

0件

○終了報告書について

令和6年10月提出：0件

○次回の委員会について

令和6年12月16日（月）16：30